

・特集 外科病棟 運用開始から3ヶ月
施設・設備のご紹介

contents

- ・本院がマンモグラフィ検診施設の認定を受ける
- ・市民のための運動相談・メディカルチェックを実施
- ・下肢救済・フットケア外来開設のお知らせ
- ・地域医療連携室より
- 紹介予約申込みに関する対応、病院アンケート調査の御礼



■外科病棟 運用開始から3ヶ月

杏林大学病院 外科病棟は2007年8月1日の運用開始から約3ヶ月が経過しました。今回は様々な角度から病棟運用を支えるスタッフのコメントと共に新外科病棟を特集します。

8F 個室病棟

最上階の8階は25床は外科系各科が共同で使用する個室。



8F	病棟:25床、全室個室
7F	外科系病棟
6F	外科系病棟
5F	外科系病棟
4F	外科系病棟
3F	外科系病棟
2F	外科系病棟
1F	SICU:28床、全室個室
B1F	厨房施設
B2F	機械室
免震層	

地下1F ニュークックチル厨房

病院全体の入院食をまかなう厨房施設。オール電化の厨房設備で、食事の温度はデータ記録されている。調理後の食材は冷却保存され、提供する日に配膳車の中で再加熱します。カート内は冷・温の食事を別々に処理できます。新しい配膳方法(クックチル方式)の導入に伴い栄養科が実施したアンケート調査では以下のような回答をいただきました。「温かい食事だ」「味があっておいしい」などの意見が寄せられました。



■再加熱式配膳車導入をメディアが紹介
近代的調理配膳システムとして注目される、クックチル調理システム対応の再加熱調理方式配膳車が本院外科病棟の厨房で導入されたことが、日経プレスリリース、日刊工業新聞で紹介されました。

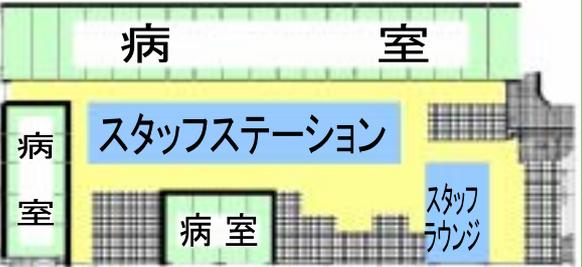


■ピムス導入で治療から退院までを管理
入院患者の処置オーダーは、生体情報モニター「ピムス」で管理を一元化しています。これらの情報は会計情報に連結されるので「ピムス」のみで患者の生体情報、処置オーダー、会計情報の管理が可能となりました。



1F S-ICU

(Surgical Intensive Care Unit)



ここは術後集中ケアを行う病棟です。全室個室の28床で、各室内は大きな窓のある広い病室です。室内のトイレや洗面台は術後痛みを伴う患者様にとって、機能的で使いやすい設計になっています。毎日十数人の術後患者様が入退室されますが、手術直後の一番痛くて辛い時期を、患者様やご家族が安心して過ごしていただけるようスタッフ一同頑張っています。



2F~7F 一般病室



新しい病棟は患者様からの評判もよく、「ホテルみたいだね」と言われます。見た目だけでなく、プライバシーに配慮したパーソナルスペースの広い病室は、私達、医療者にとっても働きやすいものです。バリアフリーの転倒防止策に対しては高齢者の患者様からも歩きやすいと言われます。明るく、そして広々としたデイルームは患者様とご家族との憩いの場や様々なコミュニケーションの場ともなっています。

貴方を、貴方の大切な人を、全力で救いたい
<http://www.kyorinsu.uin.jp>

このたび、センターの活動や実績などを紹介したホームページが完成しましたのでお知らせいたします。

■形成外科外来にて
毎週木曜日・13時~15時 完全予約制
【診察】
■脳卒中センターホームページが完成しました

杏林大学病院脳卒中センターは365日24時間体制で、緊急事態に対応しています。

脳卒中センターでは、地域の診療所や病院と連携して、患者様のニーズにあった、オーダーメイドの診療計画を目指しています。

■下肢救済・フットケア外来

開設のお知らせ

近年、生活習慣の欧米化による虚血性疾患の増加に伴い、重症下肢虚血(Critical Limb Ischemia)を持つ患者様も増加傾向にあり、注目を集めています。このような患者様の治療に際しては、一つの科による診療だけでは十分ではなく、循環器内科、血管外科、内分泌科、糖尿病内科、腎臓内科(透析)、放射線科、形成外科など多くの診療科による、統合的な治療が必要です。

当院では形成外科が窓口となつてこのような患者様の受け入れを積極的に行っています。下肢の切断は、患者さまの予後を左右する重大な因子とされていますので、少しでも長く下肢が残るよう、退院後のQOL向上をめざし、熱意をもって取り組んでいます。お一人お一人じっくりと診察し、ケア・治療を行います。

■本院がマンモグラフィ検診施設の認定を受ける

昨年12月、本院ではデジタルマンモグラフィ(乳房X線撮影)装置を更新しました。新しい装置は従来のものに比べ高精細な画像が提供でき、患者様にも優しい機構が取り入れられています。撮影に携わる技師も、認定資格を持った女性技師が中心です。

本院では新装置導入に伴い、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会による書類審査、画質評価、線量評価を経て基準を満たしている施設としての認定を受けました(診療報酬上の加点はありません)。

すでに当院には読影認定医師、撮影認定技師がおり、一般的な施設認定の取得により、マンモグラフィ診療を行う3条件が揃いました。今後はさらに、乳がんの早期診断、早期治療に大きく貢献していきたいと思っています。



■市民のための運動相談・メディカルチェックを実施

医学部衛生学公衆衛生学教室は、今年も三鷹市医師会と共催で、市民の皆さまに自分にあった適切な運動方法を知っていただくため、50歳以上の方を対象とした『中高年の運動相談・メディカルチェックと運動処方』を実施しました

計8回実施した相談会にはあわせて約40人の市民が参加しました。健康スポーツ医の資格をもつ照屋浩司教授を中心に衛生学公衆衛生学教室のスタッフが問診、骨密度・体脂肪率の測定、末梢(まっしよ)循環機能の評価、血液・尿検査、心電図検査、運動負荷検査などを行い、それぞれの方に適した運動法をお伝えしました。



読売新聞は全国の主要病院に対して各種手術件数に関するアンケートを行い、その結果を「くらし健康」(日曜日版)のコーナーで「病院の実力」として連載しています。杏林大学病院も掲載基準を満たした以下の項目について紹介されました。

掲載された杏林大学病院での診療科別手術件数

診療科	部位	手術件数	都内順位	掲載基準	手術件数の内訳
脳神経外科	脳腫瘍手術	67	14	脳腫瘍の手術 25件以上	総件数
	脳動脈瘤治療	79	8	脳動脈瘤の治療 30件以上	破裂脳動脈瘤の開頭手術(48) 破裂脳動脈瘤の脳血管内治療(14) 未破裂脳動脈瘤の開頭手術(13) 未破裂脳動脈瘤の脳血管内治療(4)
消化器外科	胃がん	177	12	手術と内視鏡治療の 合計100件以上	手術(80)+内視鏡治療(97)
呼吸器外科	肺がん	68	18	がんなど肺の手術を 50件以上	手術件数
乳腺外科	乳がん	144	14	手術件数70件以上	手術件数
循環器科	心臓手術	118	16	手術100件以上	総件数
泌尿器科	腎臓がん	45	7	手術20件以上	全手術数
	膀胱がん	24	3	全摘手術10件以上	膀胱全摘手術の数
	前立腺がん	85	14	手術と放射線治療の 合計が25件以上	全摘手術件数(52) 放射線治療数(33)
婦人科	子宮・卵巣がん	68	15	治療件数の合計40件 以上	子宮頸がん0期(19) 頸がん1~4期(17) 子宮体がん(25) 卵巣がん(7)

※読売新聞「病院の実力」シリーズ(2006年6月~2007年10月掲載記事)調べ

【杏林大学医学部付属病院】

〒181-8611 三鷹市新川6-20-2 Tel0422-47-5511(代表)
ホームページ<http://www.kyorin-u.ac.jp>

